

農業技術 海外で成果

富岡

青年海外協力隊「農業普及や格差是正の担い手」として各国に赴き、前回の研修を2年前に富岡甘菜地域で受け、5人の活動報告会が7日、富岡市内で開催された。現地での

JICAの活動報告会



5人はアジアに赴いた。栗山愛さん(31)、セネガルに赴任した神奈川県出身の寺沢悠りさん(28)、フィリピンに赴任した青森県出身の宮川継右さん(25)、共に埼玉出身でスバ(24)とルワンダに赴任した加藤蓮さん(25)。2015年1月、約3カ月間、同市などの農家で栽培ノウハウを学んだ後、2年間現地で活動し、現月に帰国した。

各自が民俗衣装を着て、現地の写真などを交えながら「学んだ技術で、初のイチゴ栽培の技術を伝えることができた」などと報告。受け入れた農家をつくる甘楽富岡農村大(白石義行校長)や研修学校(白石義行校長)や研修を委託するNPO法人自然塾寺子屋のメンバーらは、5人の成長に目を細めていた。